

シートNO	10
項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	①リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信の実施継続（水位、気象情報、カメラ映像、ホットラインなど）
対応課題	G, H, I, J

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・川の防災情報システムによるスマートフォンを活用した情報発信、プッシュ型の洪水予報等の情報発信を継続実施	引き続き実施	平成29年5月22日よりプッシュ型の洪水予報等の情報発信を開始し、継続実施中	実施を継続
新潟県	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など (継続)	引き続き実施	・国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う ・R5年度より事前防災情報や行動を共有し、災害対応の向上を図る荒川流域タイムラインの運用開始	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市				
関川村	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 (継続)	引き続き実施	・令和2年1月27日に浸水想定区域図を公示・公表 ・令和6年6月14日に荒川水系県管理20一級河川の浸水想定区域図を公示・公表 ・荒川水系県管理20一級河川の洪水ハザードマップ策定(R7年3月) ・ホームページ掲載公表(R7年3月) ・関係する地域住民に配布(R7年5月)	実施を継続 荒川水系県管理20一級河川の洪水ハザードマップの普及(出前講座による説明など)
胎内市	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進 (継続)	引き続き実施	・R6年3月導入の防災アプリ、R7年10月から導入の難聴者向け防災タブレットで防災情報から河川防災情報システム、川の防災情報などリンク。 ・R7年度、荒川水系を含む23河川に係る浸水想定区域の指定に伴い水害ハザードマップを更新し、市内全戸へ配布予定（令和8年3月完成予定）	実施を継続
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 黄色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	20
項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	②避難指示等の発令に着目した防災行動計画（タイムライン）の検証と改善
対応課題	C

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 ・必要に応じて、水位情報等の提供など (継続)	引き続き実施	・国管理区間のタイムラインは策定済み、今後は検証と改善を行う ・R5年度より事前防災情報や行動を共有し、災害対応の向上を図る荒川流域タイムラインの運用開始	実施を継続
新潟県	・タイムラインを策定していない河川において、関係機関が連携し流域雨量指数を用いた水害危険性の周知に関する取組を実施	引き続き実施	・R3年に水害対応タイムラインを修正(荒川・鷹の巣水位局) ・R5年度より事前防災情報や行動を共有し、災害対応の向上を図る荒川流域タイムラインの運用開始	実施を継続
新潟地方気象台	北陸地整・県・市・村と共同し、整備・改善を支援 (継続)	引き続き実施	・市町村訪問により、避難判断基準の解説、あわせて、台長による首長訪問を実施し、市町村との連携強化を図る ・R5年度より事前防災情報や行動を共有し、災害対応の向上を図る荒川流域タイムラインの運用開始	実施を継続
村上市	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 (継続)	引き続き実施	R5年度より事前防災情報や行動を共有し、災害対応の向上を図る荒川流域タイムラインの運用開始	実施を継続
関川村	・出水後におけるタイムラインの検証と改善 (継続)	引き続き実施	・R4年8月の浸水被害を踏まえ高田地区の排水樋管操作、排水活動、住民広報、避難行動などの一連の行動に関するコミュニティタイムラインを策定、R5年度出水期より運用開始 ・R5年度より事前防災情報や行動を共有し、災害対応の向上を図る荒川流域タイムラインの運用開始 ・関川村水防計画(R7年3月改定)の資料編にコミュニティタイムラインを掲載 ・R6年度、R7年度の総合防災訓練において高田地区はコミュニティタイムラインに沿った浸水想定で避難訓練を実施	実施を継続
胎内市	・出水後におけるタイムラインの検証と改善	引き続き実施	・R5年度より事前防災情報や行動を共有し、災害対応の向上を図る荒川流域タイムラインの運用開始	継続
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	30
項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	③想定最大規模も含めた破堤点別浸水想定区域図、家屋倒壊等氾濫 想定区域の公表
対応課題	D, E F

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道				
新潟県	想定氾濫区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水想定区域図を順次策定していく	順次実施	荒川（H30年6月公示） 乙大日川・烏川・堀川・大石川（R3年12月公示） 春木山大沢川ほか27河川（R6年6月公示） R3年水防法改正による法指定区間内の未解析範囲に防護対象がある河川（乙大日川上流）（R8.3公示予定）	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市				
関川村				
胎内市				
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 黄色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	40
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	④立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討
対応課題	D, E, F, K

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道				
新潟県	・ 想定氾濫区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域図を順次策定していく	順次実施	荒川（H30年6月公示） 乙大日川・烏川・堀川・大石川（R3年12月公示） 春木山大沢川ほか27河川（R6年6月公示） R3年水防法改正による法指定区間内の未解析範囲に防護対象がある河川（乙大日川上流部）（R8.3公示予定）	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	・ 浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。 （継続）	順次実施	村上市洪水・土砂災害ハザードマップをR7.3改訂し全戸配布した。また、防災訓練や防災出前講座で避難行動について支援を実施	順次実施
関川村	・ 浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。 （継続）	順次実施	・ R7年10月、村の総合防災訓練で水害想定全村避難訓練を実施 ・ 荒川水系県管理20河川の洪水ハザードマップ策定(R7年3月)	実施を継続 洪水ハザードマップ普及 (R7年4月～)
胎内市	・ 浸水想定区域図等の公表後に立ち退き避難が必要な区域及び避難方法を検討する。 （継続）	順次実施	防災ガイドブックやHP等で浸水想定区域や避難行動について周知。 R7年度には荒川水系を含む水害想定ハザードマップを更新。（3月完成・配布予定）	順次実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	50
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	⑤参加市・村による広域避難計画の策定及び支援
対応課題	D,E

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 (継続)	引き続き実施	令和2年1月27日に浸水想定区域図を公示・公表	実施を継続
新潟県	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市村間の調整や運営上の課題への支援 (継続)	引き続き実施	平成30年6月29日、令和3年12月24日及び令和6年6月14日に浸水想定区域図を公示	実施を継続
新潟地方気象台	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 (継続)	引き続き実施	関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。	実施を継続
村上市	・北陸地整、県、関係市村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難の現実性について検討する。 (継続)	引き続き実施	【実績なし】	引き続き実施
関川村				
胎内市	・北陸地整、県、関係市村と連携し、想定最大規模洪水に対する広域避難の現実性について検討する。 (継続)	引き続き実施	【R7実績なし】	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	60
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	⑥広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの周知・活用促進
対応課題	D, E F

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・ハザードマップポータルサイトの周知と活用を促進（継続）	引き続き実施	・R4年度より水害リスクマップ、多段階浸水想定図をHP公表	実施を継続
新潟県				
新潟地方気象台				
村上市	・ハザードマップの普及啓発・活用を図る。	引き続き実施	村上市洪水・土砂災害ハザードマップをR7.3改訂し全戸配布した。また、防災訓練や防災出前講座で避難行動について支援を実施	実施を継続
関川村	・ハザードマップの普及啓発・活用を図る。	引き続き実施	・R7年4月以降荒川水系中小河川のハザードマップを関係集落住民に配布 ・R7年7月から8年2月にかけて各集落、要配慮者利用施設などに対し、ハザードマップの普及、活用に係る説明会等を地区・団体単位で巡回説明	実施を継続
胎内市	・ハザードマップの普及啓発・活用を図る。	引き続き実施	HP等で防災ガイドブックを掲載し、ハザードマップや災害時行動等周知。 R6年3月に防災アプリを導入し、ハザードマップをリンク。登録と配信内容、活用方法等について継続し周知。	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	70
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	⑦水位予測の検討及び精度の向上
対応課題	B

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道				
新潟県	流域雨量指数（洪水予報の危険度分布）を活用した水害危険性周知を検討	引き続き実施	減災対策協議会にて情報を共有	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市				
関川村				
胎内市				
荒川水力電気	データの情報提供（継続）	引き続き実施	岩船ダムデータの情報提供（毎10分時）	引き続き実施
赤芝水力発電	データの情報提供（継続）	引き続き実施	【R8.1現在】検討中	引き続き検討
東北電力	鷹の巣ダムデータの情報提供（毎正時）（継続）	引き続き実施	鷹の巣ダムデータを毎正時情報提供している。	引き続き来年度以降も実施。

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	80
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	⑧「危険度の色分け表示」や「警報級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信
対応課題	J

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道				
新潟県				
新潟地方気象台	「危険度の色分け表示」や「警報級の可能性」、「危険度分布」等による気象情報発信 ・地域支援チームにより、提供資料の利活用を促進	引き続き実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・[R04.6]キキクル（危険度分布）の改善：警戒レベル4相当の紫への一本化、警戒レベル5相当の黒の新設</li> <li>・[R05.2]気象庁ホームページにおける水害リスクラインと洪水キキクルの統合表示</li> <li>・[R05.7]キキクル（危険度分布）の改善：洪水キキクルから「流域雨量指数の予測値」へのリンク追加</li> </ul>	引き続き実施
村上市				
関川村				
胎内市				
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	90
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	⑨流域雨量指数（洪水予報の危険度分布）を活用した水害危険性周知を検討
対応課題	B

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道				
新潟県	流域雨量指数（洪水予報の危険度分布）を活用した水害危険性周知を検討	引き続き実施	減災対策協議会にて情報を共有	実施を継続
新潟地方気象台	流域雨量指数（洪水予報の危険度分布）を活用した水害危険性周知を検討	引き続き実施	・洪水キキクル（洪水警報の危険度分布）活用に向けた地域防災計画の改定支援を適宜実施。	実施を継続
村上市	流域雨量指数（洪水予報の危険度分布）を活用した水害危険性周知を検討	引き続き実施	【実績なし】	
関川村				
胎内市				
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	100
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■情報伝達、避難計画等に関する事項
内容	⑩円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計（危機管理型水位計含む）等による適切な観測や維持管理の継続
対応課題	L,J

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・簡易水位計、河川監視カメラによる観測及び維持管理を実施	引き続き実施	観測及び維持管理を実施中	実施を継続
新潟県	・簡易水位計、河川監視カメラによる観測及び維持管理を実施	引き続き実施	・河川監視カメラによる観測及び維持管理を実施(荒川 1箇所) ・危機管理型水位計を設置(烏川、春木山大沢川、太田沢川、前川の計4箇所)	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市				
関川村				
胎内市				
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	110
項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	①自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
対応課題	A

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・重要水防箇所等の共同点検を実施 （継続）	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視を開催。	実施を継続
新潟県	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施 （継続）	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視に参加。	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施 （継続）	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視を実施。	実施を継続
関川村	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施 （継続）	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視を実施。	実施を継続
胎内市	・出水期前に自治会や地域住民と重要水防箇所の共同点検を実施 （継続）	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視へ参加。 今後、関係地域との実施を検討する。	継続
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	120
項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	②小中学校等における水災害教育を実施
対応課題	A

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 (継続)	引き続き実施	【R5】4校で出前講座を実施 【R6】3校で出前講座を実施 【R7】3校で出前講座を実施	実施を継続
新潟県	・新潟県防災教育プログラム【洪水災害編】を作成済み。 ・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 (継続)	引き続き実施	【R7】市村より出前講座の要請はなかった。	実施を継続
新潟地方気象台	・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する。 (継続)	引き続き実施	関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。	実施を継続
村上市	地域が連携した実践的な防災教育を実施 (継続)	引き続き実施	学校及び地域団体等への防災出前講座を実施	実施を継続
関川村	地域が連携した実践的な防災教育を実施 (継続)	引き続き実施	・R5年10月4日、関川小学校の社会科授業のニーズに応じた防災学習(出前講座)を実施(1回、4年生34人) ・R6年度は実績なし ・R7年10月15日、関川小学校の社会科授業のニーズに応じた防災学習(出前講座)を実施(1回、4年生30人)	実施を継続 小・中学校へ水災害教育の際の職員派遣、教育支援など活用を奨励
胎内市	地域が連携した実践的な防災教育を実施 (継続)	引き続き実施	学校及び地域団体等への防災出前講座を実施 R7(小学校3回・中学校1回※3月に2回予定、高校1回、高齢者団体2回、福祉施設2回、他自主防災組織等地域団体12回)	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	130
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	③ 出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催
対応課題	A

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 (継続)	引き続き実施	【R7】 高校は自治体からの要請で実施した。(小学校は直接学校と調整し実施した)	実施を継続
新潟県	・市村の要請により、出前講座等を積極的に行っていく。 (継続)	引き続き実施	【R7】 市村より出前講座の要請はなかった。	実施を継続
新潟地方気象台	・関係機関と連携し、効果的な対応を検討する。 (継続)	引き続き実施	関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。	実施を継続
村上市	・改定後のハザードマップ周知の際や自主防災組織に対する各種説明会等を利用して水防災等に説明会を実施	引き続き実施	R7.3に改訂した村上市洪水・土砂災害ハザードマップを全戸配布した。また、防災訓練や防災出前講座で避難行動について支援を実施	実施を継続
関川村	・改定後のハザードマップ周知の際や自主防災組織に対する各種説明会等を利用して水防災等に説明会を実施	引き続き実施	・防災職員を派遣して5地区・団体に対し地域のリスクに応じた防災説明会を開催 R7年7月6日 南中集落 参加者12名 R7年7月8日 小和田集落 参加者13名 R7年7月18日 田麦千刈集落 参加者11名 R7年10月20日 大島集落 地域の茶の間参加者18名 R8年1月29日 関川るーむ 参加者7名	実施を継続
胎内市	・改定後のハザードマップ周知の際や自主防災組織に対する各種説明会等を利用して水防災等に説明会を実施	引き続き実施	・市内防災士を対象とした研修会を年2回実施。(R7年7月、R8年3月予定) ・自主防災組織や地域団体へ出向き、防災ガイドブック掲載のハザードマップや水害等災害時の避難等について、防災講話を実施(5月～12月 計12回)	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	140
項目	①「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	④ まるごとまちごとハザードマップを整備
対応課題	D,FI

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・市村が作成するまるごとまちごとハザードマップへの情報提供（継続）	引き続き実施	【実績なし】	
新潟県	・想定氾濫区域内戸数が200戸以上の河川では、浸水想定区域図を順次策定していく	引き続き実施	荒川（H30年6月公示） 乙大日川・烏川・堀川・大石川（R3年12月公示） 春木山大沢川ほか27河川（R6年6月公示）	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	まるごとまちごとハザードマップを検討（継続）	引き続き実施	【実績なし】	実施を継続
関川村	まるごとまちごとハザードマップを検討（継続）	引き続き実施	検討中【今年度実績なし】	実施・検討を継続
胎内市	まるごとまちごとハザードマップを検討（継続）	引き続き実施	検討中【今年度実績なし】	実施を継続
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	150
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	⑤効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
対応課題	H

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布（継続）	引き続き実施	事務所WEBサイトに減災対策協議会の取組について掲載	実施を継続
新潟県	・住民自らの判断で避難行動をとることができるように理解しやすい情報を提供	引き続き実施	一般住民向けに洪水時の避難に役立つ情報を新潟県のWebサイトに掲載	実施を継続
新潟地方気象台	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布（継続）	引き続き実施	「水防災意識社会」の再構築について、新潟地方気象台ホームページのリンク集に掲載	実施を継続
村上市	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布（継続）	引き続き実施	村上市洪水・土砂災害ハザードマップをR7.3改訂し全戸配布した。また、防災訓練や防災出前講座で避難行動について支援を実施	実施を継続
関川村	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布（継続）	引き続き実施	・防災こくたい及び関川村防災訓練のイベントにおいて、「大したもん蛇まつりと荒川の流域治水」に関するパネルを展示、水防災意識の啓発化を図った。(9月・10月) ・水難事故防止に関する注意喚起 広報誌掲載(7~8月) 主要施設等に水難事故防止チラシ配布(7月~)	実施を継続
胎内市	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布（継続）	引き続き実施	有事の際、直ちに避難行動がとれるよう、R4年12月に家庭内に常時掲示型のマイタイムラインを作成・全戸配布。 R5~7年度には、自主防災組織や地域団体への防災講話等で活用等再周知。 R5~7年度にかけて防災行政無線の再整備を実施。より迅速・確実な情報伝達が可能となるよう整備済。	引き続き実施
荒川水力電気	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布（継続）	引き続き実施	【R7.6.15】ダム放流における危害防止を図るため、関川村広報誌への掲載 【R7.6.4】水難防止のチラシ配布	引き続き実施
赤芝水力発電	「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布（継続）	引き続き実施	【R7.7.1】ダム放流における危害防止を図るため、関川村広報誌への掲載。	引き続き実施
東北電力	・関川村広報紙の掲載、水難防止チラシの配布により注意喚起を実施（継続）	引き続き実施	【R7.7.10】水難防止のチラシおよびポスター配布。 【R7.6.15】ダム放流における危害防止を図るため、関川村広報誌に掲載。	引き続き来年度以降も実施。

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	160
項目	④「安全な場所への確実な避難」に向けた、円滑かつ迅速な避難のための取組
事項	■ 平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組
内容	⑥ 住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実
対応課題	K

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道				
新潟県				
新潟地方気象台				
村上市	・ 自主防災のあり方、役割の（再）啓発を実施 ・ 実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施（継続）	引き続き実施	HPで広報・啓発や各区長へ啓発文書の配布を行った。 R7,8月に避難支援セミナーを開催	実施を継続
関川村	・ 自主防災のあり方、役割の（再）啓発を実施 ・ 実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施（継続）	引き続き実施	広報誌による各地区の防災活動の事例紹介（通年） R7年度：防災士×1名を育成等	実施を継続
胎内市	・ 自主防災のあり方、役割の（再）啓発を実施 ・ 実際の災害時に機能するよう実践的な研修・訓練の実施（継続）	引き続き実施	自主防災組織の訓練に常時参加し、防災講話等で自主防災の重要性について説明。	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	170
項目	②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
事項	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内容	①水防団等への連絡体制の確認と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施
対応課題	M

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	【R7.5.9】直轄管理区間の洪水対応演習を実施	実施を継続
新潟県	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	【R7.5.9】直轄管理区間の洪水対応演習に参加	実施を継続
新潟地方気象台	・情報伝達訓練への支援 (継続)	引き続き実施	【R7.5.9】直轄管理区間の洪水対応演習に参加	実施を継続
村上市	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】洪水対応演習に参加	実施を継続
関川村	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	・関川村水防計画改定(R7年3月) ・【R7.5.9】洪水対応演習に参加	実施を継続
胎内市	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	【R7.5.9】洪水対応演習に参加	引き続き実施
荒川水力電気	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	【R7.5.9】洪水対応演習に参加	引き続き実施
赤芝水力発電	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	【R7.5.9】洪水対応演習に参加	引き続き実施
東北電力	・水防連絡会にて連絡体制の確認を行い、県・市・村と共同で情報伝達訓練を実施する。 (継続)	引き続き実施	【R7.5.9】洪水対応演習に参加	引き続き実施

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	180
項目	②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
事項	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内容	②自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の合同巡視の実施
対応課題	U,LM

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視を実施	実施を継続
新潟県	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視に参加。	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視を実施。	実施を継続
関川村	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】合同巡視への参加	実施を継続
胎内市	・重要水防箇所等の合同巡視を実施 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視への参加	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 黄色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	190
項目	②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
事項	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内容	③県北地域が一丸となり、毎年、関係機関が連携した水防実働訓練等を実施
対応課題	O、P

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川水防訓練を実施	実施を継続
新潟県	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視に参加。	実施を継続
新潟地方気象台	・関係機関等の要請により、訓練への支援 (継続)	引き続き実施	【R7】訓練参加実績はなかったが、関係機関と情報共有を図りながら、今後も適宜支援を実施。	実施を継続
村上市	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川水防訓練を実施。 【R7.8.31】村上市総合防災訓練を実施。	実施を継続
関川村	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	・村の総合防災訓練において浸水害を想定とする住民避難訓練、避難所開設運営訓練を関係機関や地域と連携して実施 この際、川北地区(高田集落)では関係機関と連携して、コミュニティタイムラインに沿った住民避難訓練を実施 ・【R7.6.14】荒川水防訓練に参加。	実施を継続
胎内市	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川水防訓練に参加。 【R7.9.28】市総合防災訓練を実施。	引き続き実施
荒川水力電気	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川水防訓練に参加。	引き続き荒川水防訓練（見せる訓練）に参加する
赤芝水力発電	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川水防訓練（見せる訓練）に参加	引き続き実施
東北電力	・水防管理団体が行う訓練への参加 (継続)	引き続き実施	【R7.6.14】荒川水防訓練に参加。	荒川水防訓練（見せる訓練）時は、引き続き参加する。

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	200
項目	②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
事項	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内容	④水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進
対応課題	N,P

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道				
新潟県				
新潟地方気象台				
村上市	・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。 （継続）	引き続き実施	市報、HP、ポスター等で募集の呼びかけを行っている。	実施を継続
関川村	・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。 （継続）	引き続き実施	水防団員（消防団員）の募集実施中（通年）	実施を継続
胎内市	・水防活動の担い手となる水防団員の募集を促進する。 （継続）	引き続き実施	市報、HP、消防団通信等で消防団員の募集について広報している。	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	210
項目	②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
事項	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内容	⑤大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施
対応課題	Q

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・復旧活動の拠点等配置計画を検討（継続）	順次実施	関川村高田地区ヘレジリエンスベース（防災拠点）事業を実施中。（調査・設計、現地調整）	実施を継続
新潟県	・復旧活動の拠点等配置計画を検討（継続）	順次実施	検討中	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市				
関川村				
胎内市				
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 黄色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	220
項目	②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
事項	■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組
内容	⑥新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
対応課題	O,Q

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 ・新技術（水のう等）を活用した資機材等の検討・配備 （継続）	・引き続き実施	【R7.6.14】荒川水防訓練を実施	実施を継続
新潟県	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 （継続）	・引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視に参加。	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 （継続）	・引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視を実施。	実施を継続
関川村	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 （継続）	・引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視へ参加	実施を継続
胎内市	・水防連絡会にて水防倉庫の備蓄材などの合同巡視を実施 （継続）	・引き続き実施	【R7.6.14】荒川合同巡視に参加。	引き続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	230
項目	②洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組
事項	■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組
内容	①要配慮者等の迅速な避難に向けた取組の充実 (避難確保計画の作成支援、地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等)
対応課題	K

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行おうとする際の技術的な助言を行う (継続)	引き続き実施	【実績なし】	実施を継続
新潟県				
新潟地方気象台				
村上市	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する。	順次実施	・要配慮者施設からの問い合わせ棟に対応し、避難計画策定の推進を行った。	実施を継続
関川村	・要配慮者施設における避難計画策定の推進を行う。 ・地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する。	順次実施	要配慮者施設における避難確保計画策定を推進（R5度末まで策定・村へ提出を目標として各施設に策定依頼、R8年2月現在進捗状況は16施設中10施設が提出済み）	実施を継続
胎内市	・避難確保計画策定済みの要配慮者利用施設への継続的な支援（定期的な計画更新・訓練支援等） ・地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や防災関連のパンフレット設置等の在宅要配慮者向けの対策を推進する。	順次実施	・避難行動要支援者の個別避難計画作成を実施中。（自治会・集落、自主防災組織、福祉関係者等協力のもと作成中） ・令和7年度は、福祉関係施設職員へ再度作成について説明会を実施し協力依頼（R7年9月）	引続き実施
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	240
項目	③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化
事項	■救援・救助活動の効率化に関する取組
内容	①大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施
対応課題	E,S

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・広域支援拠点等の検討支援 （継続）	順次実施	・R3年度に大規模水害を想定した荒川排水計画（案）策定。R4に所内防災計画に災害発生時の支援体制を網羅的に立案。	実施を継続
新潟県	・広域支援拠点等の検討支援 （継続）	順次実施	検討中	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	・広域支援拠点等の配置等を検討 （継続）	順次実施	【実績なし】	実施を継続
関川村	・広域支援拠点等の配置等を検討 （継続）	順次実施	検討中 【今年度実績なし】	実施を継続
胎内市	・広域支援拠点等の配置等を検討 （継続）	順次実施	【今年度実績なし】	実施を継続
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 黄色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	250
項目	③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化
事項	■排水訓練の実施等
内容	①排水ポンプ車の出動要請の連絡訓練の実施
対応課題	R

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・ 毎年、出水期前に県・市・町と連携して連絡体制の整備を行い、情報共有を図る。 (継続)	引き続き実施	・ 排水ポンプ車を含む災害対策機械の要請方法について共有。防災訓練において出動要請・派遣の手続きを自治体・県・国交省間において確認。	実施を継続
新潟県	・ 連絡体制の確認 (継続)	引き続き実施	排水ポンプ車想定箇所及び連絡体制を確認	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	・ 連絡体制の確認 (継続)	引き続き実施	・ 排水ポンプ車を含む災害対策機械の要請方法について共有	実施を継続
関川村	・ 連絡体制の確認 (継続)	引き続き実施	・ 排水ポンプ車出動要請の連絡体制を確認し、上関水位観測所地点のタイムラインに反映 ・ R7年度関川村防災訓練(住民避難訓練)にて排水ポンプ車を高田排水樋管付近へ出動要請(10月)	実施を継続
胎内市	・ 連絡体制の確認 (継続)	引き続き実施	引き続き連絡体制を確認していく。	実施を継続
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく荒川流域の減災に係る取組

減災のための取組項目（概ね5年間）

※ 着色表示は、新規及び進捗があった取組

シートNO	260
項目	③社会経済活動を取り戻すための排水活動及び施設運用の強化
事項	■排水訓練の実施等
内容	②関係機関が連携した排水実働訓練の実施
対応課題	S

対応機関	取組方針（R3.5策定）		取組状況（実績）	
	実施内容	時期	実施内容	進捗状況
羽越河川国道	・ 実践的な操作訓練や排水計画に基づく排水訓練の検討及び実施 ・ 水防管理団体が行う水防訓練等への参加 (継続)	引き続き実施	・ 排水ポンプ車の実働排水訓練を実施 令和7年度実績 5月29日（木）内水排除等訓練 ふるさとトンボ池 6月26日（木）内水排除等訓練 乙大日川 7月25日（金）内水排除等訓練 高田第二排水樋管 8月22日（金）内水排除等訓練 荒川縁新田 9月26日（金）内水排除等訓練 （夜間訓練）辰田新 11月21日（金）内水排除等訓練 荒島 12月19日（金）内水排除等訓練 小見前新田 1月30日（金）内水排除等訓練 鳥屋災対車庫	実施を継続
新潟県	・ 排水ポンプ車の実働訓練を実施 (継続)	引き続き実施	【R7】 実働訓練の実施なし	実施を継続
新潟地方気象台				
村上市	・ 河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討 (継続)	引き続き実施	河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討。	実施を継続
関川村	・ 河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討 (継続)	引き続き実施	【R7.10.19】 防災訓練(住民避難訓練)で排水ポンプ車の出動を訓練参加要請（機材の設置展開まで）	実施を継続
胎内市	・ 河川管理者が行う定期的な操作訓練に参加を検討 (継続)	引き続き実施	【R7】 実績なし	実施を継続
荒川水力電気				
赤芝水力発電				
東北電力				